

系統 カチオン系アクリル樹脂



塗料性状

	項目	内容
1	荷 姿	15 kg
2	混 合 比	1液
3	色	白色
4	つ や	艶消し
5	臭 い	少なめ
6	仕 上 が り 感	平滑
7	比 重 / 密 度	1.05 (g/cm ³ /23°C)
8	溶 剤 比 重	—
9	加 熱 残 分 (固 形 分)	28 (%)
10	粘 度	200 (mPa・s/23°C)
11	劇 物 表 示	—
12	労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	二酸化チタン, プロピレングリコールモノメチルエーテル, エタノール, イソプロピレンアルコール
13	使用有機溶剤種別	—
14	消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	適用外
15	硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

注)上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装条件

塗装方法	はけ、ローラー、エアレス
希釈率	0～5% (清水)
標準塗布量 (kg/m ² /回)	0.1～0.18kg/m ² /回

注)上記の数値は塗装作業に必要な使用量の標準数値です。標準塗布量は、個々の条件によって異なります。

塗装間隔

項目	温度	
		23°C
標準塗布間隔	最短	3時間
	最長	7日間

*素地がトタン、カラータタン、アルミニウム板等2液エポキシ系下塗材を使用する場合は、16時間以上としてください。

特徴

- ①優れた浸透性により、各種旧塗膜の下地及び仕上塗材、各種基材との適合性が広い下地調整塗材です。
- ②超微粒子のマイクロエマルジョンなので含浸性が非常に良好、安定した付着性が得られる水系下塗材です。
- ③労働安全衛生法・消防法の規制を受けない安全性で、耐水性・耐アルカリ性が良好です。
- ④VOC1%以下で隠ぺい性がよく、上塗り工程での透けが起りにくいです。

主な適用素材

ケイカル板、コンクリート、モルタル、新生瓦、窯業系サイディングボード等
※ただし、新生瓦については、極力溶剤系の下塗りを使用してください。また、使用する場合は、事前に付着確認を行ってください。

適用旧塗膜

合成樹脂エマルジョンペイント、アクリル樹脂塗料、ポリウレタン樹脂塗料、塩化ビニル樹脂塗料、吹付タイルリシン(セメントリシンは除く)、スタッコ(セメントスタッコ、弾性スタッコは除く)

注)既存塗膜が2液反応硬化形溶剤仕上材の場合は施工できません。

使用上の注意事項

- 1)下地がコンクリート、モルタルの場合は素地の乾燥は十分行ない、含水率10%以下、pH 10以下で施工して下さい。
- 2)押出成形セメント板、GRC板などには、下塗材としてマルチプライマーEPを使用して下さい。
- 3)旧塗膜の浮き・剥がれ・チョーキング層等は除去してから施工して下さい。
- 4)事前に既存塗膜の溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。
- 5)シーリング材への塗装は、塗膜の硬化不良・割れ・剥がれ・汚染の恐れがある為、原則不可です。
- 6)気温5°C以下、湿度85%以上及び結露が懸念されるような場合は塗装を避け、材料は直射日光下及び0°C以下の保管は避けて下さい。施工時は換気を十分行なって下さい。
- 7)塗装中及び塗装後6時間以内に降雨、積雪、結露、強風等が予想される場合は、施工を避けて下さい。
- 8)各標準施工仕様準じて所要量及び間隔時間を厳守し、材料を取り扱う場合は特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法を厳守して下さい。
- 9)軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどに施工する場合は、蓄熱したり、水の影響や、下地の状態、塗装時の環境など条件により、塗膜の膨れ、はがれなどが生じることがあります。
- 10)作業を行う場合には、適切な保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用下さい。
- 11)その他塗料の取扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますので、予めご了承ください。